

# 令和4年度 第4回恵那市社会教育委員会議事録

開催日時：令和4年11月29日（火）

午後1時30分～3時20分

開催場所：恵那市役所会議棟 大会議室

## 1. 開会あいさつ

## 2. 社会教育委員長あいさつ

## 3. 議題

(1) 第3回社会教育委員会及び臨時会会議録の承認について

(2) 令和3年度家庭教育支援計画事業の成果と課題の検証結果について

(3) 地域学校協働活動の調査研究について

- ・地域学校協働活動推進員との合同会議の内容の振り返り
- ・現状や課題、改善点の整理

## 4. その他

- ・「二十歳を祝う会 恵成式」の開催について

日時：令和5年1月8日（日）午後1時 開式

会場：恵那文化センター大ホール

## 5. 次回日程

日時：令和5年1月27日（金）午前10時～

会場：恵那市役所災害対策室A・B

## 6. 閉会あいさつ

・出席者の数：社会教育委員14人中10人、事務局4人（以下のとおり）

	役職	氏名	選出団体等	出欠
1	委員長	林 達夫	恵那市三学のまち推進委員会	出席
2	副委員長	磯部 彰	恵那市図書館協議会	出席
3	委員	山内 正一	学識経験者	出席
4	委員	山田 恵市	恵那市文化振興会	出席
5	委員	相原 正文	恵那市青少年育成市民会議	欠席
6	委員	森川 伸江	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
7	委員	柘植 俊夫	恵那市民生委員児童委員協議会	出席
8	委員	小林 英文	恵那市壮健クラブ連合会	出席
9	委員	百松 義朗	NPO まちづくり団体	出席

10	委員	田口 容子	放課後子ども教室コーディネーター	出席
11	委員	各務 周和子	保育士・幼稚園教諭経験者	欠席
12	委員	伊藤 幸正	恵那ライオンズクラブ	欠席
13	委員	阪上 美代子	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	出席
14	委員	土屋 真由美	校長会代表	欠席

事務局

1	教育長	岡田 庄二	恵那市教育委員会	欠席
2	課長	柄澤 史枝	生涯学習課	出席
3	課長補佐兼係長	伊東 将昭	〃	出席
4	主査	今井 ちえこ	〃	出席
5	社会教育指導員	遠藤 滋	〃	出席
6	社会教育指導員	小坂 忠昭	〃	欠席
7	社会教育指導員	和田 克子	〃	欠席
8	社会教育指導員	太田 礼子	〃	欠席

開会

(事務局) 皆様こんにちは。定刻となりましたので、これより第4回恵那市社会教育委員会を開催させていただきます。本日はお集まりいただきありがとうございます。私は事務局を務めさせていただいております伊東と申します。よろしく申し上げます。初めに、柄澤生涯学習課長が開会のあいさつを申し上げます。

1. 開会あいさつ

(生涯学習課長) 皆様こんにちは。本日はお忙しい中、社会教育委員会にご出席いただきましてありがとうございます。前回の会議の中で紹介させていただきました嚶鳴フォーラムが先日終了しました。2日目午後のこども嚶鳴フォーラムには、一般の方にも多くご参加いただき成功を収めました。全国5市町の子どもたちに発表いただきましたが、とても上手でよく勉強していると感心しました。YouTubeで配信されていますので、ご覧になられていない方はぜひご覧ください。

2. 社会教育委員長あいさつ

(委員長) こんにちは。今日は雨で寒いですが、風邪などひかぬようお気を付けください。また、コロナも増えたり減ったりと不安定で、今は小さい子どもから家族へうつる傾向のようです。どこで拾うかわかりませんが、かからないように気を付けたいところです。本日は第4回社会教育委員会ですが、まだ解決しなければならないこと、勉強しなければならないことがありますので、交流し合いながら進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(事務局) ありがとうございます。では、資料の確認をお願いします。ホチキス留め資料2点と、会報・冊子類をお配りしました。先ほど委員長からもお話がありましたが、コロナ第8波感染者数も増えておりますので、引き続き消毒・検温・換気にご協力をお願いします。では議題に入ります。ここからの進行は委員長をお願いします。

### 3. 議題

#### (1) 第3回社会教育委員会及び臨時会会議録の承認について

(委員長) 2回分の会議録が配布されておりますので、何かあれば、会の終了後に事務局へ伝えてください。毎回、読ませてもらっていますが、行政の方でより細かいところまで見ていただいているなど感心しています。今後もよろしくお願いします。ただ、私の見落としもありますので、気づかれた委員さんは事務局に伝えていただくようお願いいたします。

#### (2) 令和3年度家庭教育支援計画事業の成果と課題の検証結果について

(委員長) 今年の大きな議題の1つです。臨時も含めて2回ほど、家庭教育について協議をしました。私たちが実際体験したり、意見を聞いたり、交流したものをまとめていただきましたので、事務局から報告してください。

(事務局) 資料の4ページ、5ページをご覧ください。令和3年度家庭教育支援計画事業の成果と課題の検証結果ということで、第2回社会教育委員会と臨時会の2回にわたり委員の皆様からご意見をいただきました。A3の表に各課が記した成果と課題を基に、ポイントとなるところをピックアップしてご意見をいただきました。今回は、皆様方のご意見を柱ごとにまとめて総括した資料を作り、報告させていただきます。

(資料を読み上げて説明)

以上のとおり、これから取り組むべき内容を示していただきました。生涯学習課から各事業の担当課へ、「社会教育委員会でもとめられた意見」ということで共有します。各課には分析を踏まえ目標設定してもらい、具体的な方策・手立てをしてもらうよう呼びかけます。次年度以降、事業が実施され、ふりかえりを行い、社会教育委員会で家庭教育支援計画事業の成果と課題を検証するというサイクルにしたいと思っています。2回にわたりご意見をたくさんいただき、ポイントを絞ったご指摘、今後取り組むべき方針を示していただきましたので、生涯学習課だけでなく、他課にまたがって取り組んでいきたいと思っております。今回の会議の場では、この資料について、ご指摘や追加事項などのご意見をいただけたらと思っております。

(委員長) ありがとうございます。皆さんの意見をまとめていただきましたが、もう少し膨らませてほしい点などあれば、教えてください。

(委員) 学社連携・学社融合と20~30年言われています。体力づくりのことで、先日テレビで見ましたが、岐阜県はバランス感覚や体幹が悪いということで、「なんでもた

いそう」を作って、毎回、体育のはじめにやったそうです。春に測定した体力より、秋の運動会後に測定した体力の方が明らかに伸びたといいます。いい実践だと思いました。恵那市には「え～な体操」がありますので、バランス感覚や筋力を養えるようアレンジして、こども園や学校の現場で活かせるといいかと思います。

（委員長）体力づくりの基本は外遊びだと思います。現在、学校では、5分でも外に出て遊んでいるか、朝登校してから外で遊んでいるか、各学校で実態把握してほしいですね。学校で子どもたちがどういう状況なのかをまず知るということ、そして、高めていくためにどんなことを継続していくかが重要です。特に小学生は運動神経系が発達しますので、学校教育課からいくつか提示して、学校で選んで取り組んでもらうなど、できるといいと思います。昔、業間体操というものを毎日強制的にやりましたが、それを見直してもいいのではないかと思います。運動以外でも、ICT導入で漢字や計算能力も落ちているようなので、「実態を知る手立て」を学校教育課で考えてほしいです。

（委員）こども園の体力測定は、測定器を園で購入し、それを回してやっていると思います。子どもの体力低下の原因として、社会情勢・住宅環境・歩かずに車での送迎・自然の中で遊ぶ機会がないなどが考えられ、各園、運動能力の向上のために取り組んでいると思います。体力が向上したかどうかのデータだけでなく、「各園が体力づくりのためにどんなことに力を入れているか」も教えてもらえると、子どもの体力をつけるための活動とその結果を結びつけて捉えられるので、良いかと思います。結果が上がったところは、どんなことに力を入れていたのか、そこが見えてくるといいですね。投げる力をつけさせたいということで、新聞紙を丸めて投げる遊びをする園もあります。そういう他園の活動を見ると、刺激になるのではないのでしょうか。また、この頃は車での登園も多く、歩いていないことが気になります。孫が「友達がハードルをまたいで骨折した」と話していましたが、小さい頃から身の使い方を付けてあげる必要があると感じています。

（委員長）情報交流が大事ですね。先生たちの遊びの指導方法も広がり、子どもたちの体験も広がるので、体力向上につながりそうです。幼児教育課から園長会などで伝えてもらえるといいと思います。

（委員）スポーツ少年団も毎年体力測定を行います。5種目行い、結果を五角形のグラフで見て、きれいな五角形に近づけるよう、子どもそれぞれに低い部分を伸ばすための指導や声かけをしています。翌年結果が伸びた子へは、「がんばったね」と認めるようにしています。

（委員長）スポ少によって測定だけするところと、その後の指導をするところとまちまちだと思います。心と身体の両方が健全に成長していくことはスポ少のねらいだと思うので、そういう指導をしてもらえるよう、代表者の集まる会で伝えてほしいと思います。

（委員）こども園の体力測定は、どのくらいの頻度で行いますか。

(委員) 年に1回です。

(委員) 集団で見るより、その子自身に体力がついたのかどうか重要だと思います。また、体力測定メニューも知らず申し訳ありませんが、例えば5月、10月、2月くらいにやって、子どもごとの体力の付き方を見るといいと思います。ただ、年に何回も行うのは難しいかもしれません。中野方のこども園はよく歩いています。以前、玉ねぎの収穫に誘ったら、年少から年長が2キロくらいある畑まで歩いてきました。

(委員長) 私も体力測定の種目を把握していませんでした。小中学校の体力測定の種目にはどんなものがありますか。

(社会教育指導員) 小中学校は5月頃、文科省から指示があり、50メートル走、立ち幅跳び・走り幅跳び、ボール投げ、前屈・上体反らしなどの柔軟性、握力、背筋力、持久走(シャトルラン)、反復横跳びなどです。幅跳びをどうやって跳んでいいかわからない子、ボールを投げたことのない子もいます。

(委員長) こども園の種目はどうですか。

(委員) 柔軟性、25メートル走、ボール投げなどです。先ほどお話がありましたが、地域での活動で歩いたり、玉ねぎを引っ張って抜いたり、そういう活動の中で体力は増進していきます。歩くということは、自然に触れ五感も刺激するのでとても大切だと思います。ただ、地域性や園の規模によって、できる園とできない園があります。測定だけでは測れませんが、遊びの中で体力をつけていくので、意識して鬼ごっこをしたり、しっぽとりをしたり、工夫している園とそうでない園では、差が出てくると思います。また、年に数回測定することに関しても、先生が測定にかかりきりになるので、できる園とできない園があります。以前「調整力(※1)は3歳から5歳で身につく」と言われ意識してきました。「未満児でできないことがない」ではなく、未満児でもできることをして、その後の小学校につながるよう、知恵を出し合いながら実践できるといいですね。日常生活の中に歩く・走る・ジャンプくらいはあっても、投げる・登る・押す・引くなどの身のこなし方は意図的に仕組んであげないと体験できないので、楽しく遊びの中でできるようになるといいと思います。

※1 調整力とは、自分自身の位置や姿勢、周囲の変化などに対応して、バランスよく動くことができる能力のこと。

(委員長) 走ると言っても、まっすぐ走ることが難しかったりします。スポ少の体力測定の種目を教えてもらえますか。

(委員) 腕立て伏せ、上体おこし、反復横跳び、立ち幅跳び、ボール投げ、シャトルランです。立ち幅跳びは、やり方がわからない子も多く、半数弱は前に跳べませんでした。跳び方を教えながら、練習してできるようになる子もいます。家庭でできることをやってきた子は伸びてきます。継続したことをほめています。

(委員) 調整力、バランス力、足の力、跳躍力が子どもたちに不足していますね。

(委員長) 体力不足が目立つようですね。

(委員) 私は孫と朝ご飯を食べていますが、食文化の変化もあり、体力をつくる食事になっているのか疑問です。給食はバランスも考えられているのでいいですが、孫は家で味噌汁を飲みません。「ごはんと味噌汁を食べ、よく噛むことで血液もめぐり、脳も働いて頭がよくなるよ。」と言ってきました。ただ、親はパンを出しておくで簡単でいいと思っています。親は朝忙しいと思いますが、和食文化のごはん味噌汁を食べさせて送り出さないと、体力もつかず体力測定どころではないように感じます。土日の過ごし方もですが、共働きで忙しいとは思いますが、親がもう少し意識して関わってあげるといいなと思います。

(委員長) 家庭教育が昔に比べると、子ども任せになっていると感じます。その他、いかがでしょうか。

(委員) ボール投げの前に、紙飛行機を飛ばすといいとテレビで見たことがあります。鉛筆持ちの練習にもなります。放課後子ども教室で、講師の話をするときは、基本体育座りですが、寝そべる子が多いです。放課後なので、リラックスした姿勢でも話を聞いていればいいと思っていますが、ちゃんと座ってられないようです。雑巾を絞れない、蛇口を回せない、しゃがめないなど、小さい時からの生活様式、生活習慣が影響していると気になっています。

(委員長) 昔は生活の中に当たり前にあったことが、今はなくなっています。体験させてあげないと身につかないですね。

(委員) 以前、学校運営協議会で学校に行ったときに感じましたが、昔は、自然に身につけたことを、改めて教える必要があるようです。親の手伝いもそうです。子どもの生活する環境が変わってきています。昔は遊ぶものがなかったので、山や川へ走っていき、石を投げていました。今は、投げ方を教えて、練習しないとできない。必要とされる体力自体が変わってきているかもしれないので、何もかも昔のようにやる必要はないと思いますが、思いがけないことができていないこともあります。昔で言う「自然に」という環境が今はないので、子どもたちが後で困らないように意図的に仕向けてあげることが必要だと思います。

(委員長) 園も学校も環境が良すぎます。子どもが楽になるのはいいことですが、それを補う必要が出てきます。以前、自然な生活体験で身につけてきたことを、その体験のない子たちがどう身につけていくか、経験していくかが大切です。

(委員) 中学校の部活動をどうするか。少子化でチームスポーツができなくなり、部活の任意加入により参加しない生徒もでてくると思います。土日のクラブは、親が送迎できずに参加しないなども考えられます。家庭教育や、スポ少や地域スポーツクラブの育成の中で、中学生の部活動支援を考える必要もあると思います。

(委員長) 部活動を地域に任せるという方針が文科省から出ていますので、今から教育委員会スポーツ課や校長会の方で、その先のイメージを話し合うことが必要だと思います。

(委員) 昔は、夏休みは毎日広場に集まってラジオ体操をしていましたが、週5日制

になってから土日には集まらなくなりました。学校へお伝えすると、「地域の保護者が決めることで、学校からの指導は難しい。」と言われました。コロナ禍、地区によっては夏休みのラジオ体操をやらなくなっています。個人的には、集まらないにしても、工夫して保護者とやるなど、毎朝できるとは思いますが、コロナを理由にやらなくてもいいとなってきているのが気になります。ラジオ体操に限らず、今まで通りにできなくなった時に、続ける方法を考えてやらせていくことが大切だと思います。体力の問題でも、遅れている子を引き上げる方法を考えて、工夫してやっていく必要があると思います。

(委員長) 年寄りにとってラジオ体操は健康維持のためですが、子どもにとっては朝の始まりという意味もあります。

(社会教育指導員) 武並や三郷は、地域学校協働活動で地域の方にもカードを配り、一緒にラジオ体操をやっていきます。

(委員長) そういう地域が増えていくといいですね。

(委員) ラジオ体操は、中野方ではやっているところと、やっていないところがあります。コロナの影響で、ラジオ体操に限らず行事がなくなっていることが問題だと感じます。行事をやるかやらないか考えた時、やらない方がいいという雰囲気になってきています。反対に、コロナ禍の状況でどういうふうにやっていくかが大事ではないでしょうか。また、孫がコロナの濃厚接触者ということで1週間学校を休んでいましたが、少しぼちゃっとした感じがします。学校へ行けば休み時間に運動できますが、家にいると動かないですね。話は変わりますが、総合型地域スポーツクラブ育成推進事業について教えてください。

(社会教育指導員) 文科省が進めていた事業で、スポーツは学校のクラブや部活で教えられるものでしたが、ヨーロッパは早く下校して、保護者や地域の指導者が地域で取り組んできた経緯があります。学校でもやるけれど、総合型ということで1つの種目に限らず、地域にいるいろいろな種目の指導者をお願いして、子どもたちに多種目に関わらせて指導していく取り組みでした。大井町や上矢作町でやっています。

(委員) 笠置いいなか倶楽部もありますね。カヌーなどやっています。

(委員) 部活動が学校から地域へ移行するというのと同じですか。

(社会教育指導員) 似ていますね。けれど、地域の受け皿がしっかりして調整役がないと難しいと思います。上矢作は地域学校協働活動推進員さんが調整に入り、各協会の方と連携できるように動いているそうです。すぐにはできませんね。

(委員) これもボランティアということですね。

(社会教育指導員) そうですね。報酬もありません。保護者が会費を集めて少し指導者へ微々たる謝礼を渡すなどあると思います。

(委員) 会費は集めていますが、指導料としてもらわず、試合の参加費や消耗品購入費などになります。

(委員長) クラブによってやり方が異なりますね。

(委員) 恵那市のスタンスをぶれさせないようにしてほしいです。恵那市は、学校で部活動をしっかりやって、クラブ活動と一緒にやっていこうということでした。多治見はクラブに流れて、ある学年全員辞めてしまったということがありました。国はいろいろな施策を打ってきますが、振り回されないように恵那市のスタンスを持っていただけたらうれしいです。

もう1点、盗撮など、ICT関連で気になる事もニュースになっています。校長も教育委員会の職員も、それぞれ価値観や性格は違いますが、どうかぶれないでほしい。動画もすぐに拡散してしまう時代です。おろおろせずに、起こったことについてきちっと対応してほしいですし、社会教育委員として協力していくスタンスでありたいと思います。

(委員長) どの点に力を入れて子どもを指導するのか、技術的な面と道徳的な面を両方やっていかないといけません。恵那市が部活動を中心にやるということがはっきりしているのであれば、一般の先生や保護者に伝わるように前面に出してやっていかないとぶれてきますね。学校教育課で対応していただけると思います。今回はこれまでと違い、検証結果を担当課へ共有して、解決策をつくり、実施し、また成果の分析を行うというサイクルで実施していくというやり方が提案されました。とてもいいなと思いましたので、生涯学習課から先進的に進めていただきたいです。次の議題の説明をお願いします。

### (3) 地域学校協働活動の調査研究について

- ・地域学校協働活動推進員との合同会議の内容の振り返り
- ・現状や課題、改善点の整理

(事務局) 資料6、7、8ページをご覧ください。第3回社会教育委員会は、地域学校協働活動推進員さんとの合同会議でグループ協議をしていただきました。それをまとめたものです。6ページは、現状ということで、どんな工夫があつてうまく進んでいるかをまとめました。現状の中には、活動内容、推進員、学校と、テーマが分かれています。7ページは、活動をしていく中で見えてきた課題、今後解決が必要なことをまとめました。8ページは、課題解決のために改善していることや、今後必要な改善案をまとめました。

(資料を読み上げて説明)

資料のとおり、グループ協議の内容をまとめましたので、追加やご意見などあればお聞かせください。

もう1つのホチキス止めの資料は、地域学校協働活動の中間まとめとして、推進員さんや塾長からご意見をいただいたものです。

(資料を読み上げて説明)

(委員長) 地域学校協働活動の中間まとめについて、質問や追加、強調箇所があればご意見をお願いします。



(委員)文化振興会からですが、12月1日、2日と芸能祭があります。恵那市の伝統的な行事で、文化に接する機会が少ない小学生に対して、2日間にわたり文化センターで音楽や演劇、人形劇などの鑑賞機会を提供しています。地域学校協働活動のひとつになるのではないかと思います。報告させていただきます。

(委員長)地域単位でなく、市の文化振興会と学校の協働ということで、地域学校協働活動としてまとめの冊子に入れてもらえるといいですね。次回、第5回の社会教育委員会では、地域学校協働活動の今後の進め方について、事務局から提案させていただきます。よろしくをお願いします。議題に関しては以上です。

(事務局)活発なご審議ありがとうございました。

#### 4. その他

・「二十歳を祝う会 恵成式」の開催について

(事務局)令和4年4月の法律改正により、成人年齢が18歳に引き下げとなりましたが、恵那市ではこれまでと変わらず、二十歳の方を対象にお祝いの式典を開催させていただきます。名称を「二十歳を祝う会 恵成式(けいせいしき)」としました。令和5年1月8日(日)午後1時から、恵那文化センター大ホールで行います。コロナ禍のため、式典は長時間にならないよう心がけます。アマックスコム及びYouTubeで生放送しますので、ご覧いただけたら幸いです。

(事務局)配布物の確認です。冊子『社会教育』、全国社会教育委員連合の『社教連合報』、恵那市の『市P連だより』の3点です。その他、委員の皆様から連絡事項や紹介などありましたらお願いします。(発言なし)

今回は、令和5年1月27日(金)午前10時から、恵那市役所災害対策室A・Bで行います。なお、冒頭に申し上げなければなりませんでした。本日、教育長は、恵那市議会本会議出席のため、欠席させていただきました。次回の社会教育委員会は、教育長も出席させていただく予定です。

#### 5. 閉会あいさつ

(副委員長)今日もたくさんのご意見をありがとうございました。私は、恵那市の図書館協議会の方から社会教育委員として参加させていただいておりますので、岐阜県図書館の電子図書についてお話しします。11月22日、恵那市の図書館で岐阜県図書館の電子図書の説明会がありました。市民へ告知しましたが、徹底できておりません。1時半からと2時半からの2回行いました。自宅で岐阜県図書館の電子図書が読めるということで、その手続きを中央図書館でやろうというものでした。私は1回目に参加しましたが参加者は10名ほどで、パソコンやスマホからできますが、私以外、皆さんスマホで設定されていました。岐阜県図書館の電子図書のページへアクセスして、県図書館から付与された番号と、自分で設定した暗証番号を入力すると、蔵書一覧が見られます。貸し出し中が多かったです。夜中に再度一覧を見ると、返却されたもの

があり読めるものが多くありました。中央図書館で「県図書館の電子図書を読みたい」と伝えていただければ、カードと番号がもらえますと思いますので、ご活用ください。以上、終わりの言葉とさせていただきます。本日はお疲れさまでした。

令和4年11月29日（火）

社会教育委員会委員長 林 達夫

社会教育委員会副委員長 磯部 彰